



独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

NISE National Institute of Special Needs Education



# 地域実践研究の概要

インクルーシブ教育システム推進センター

横尾 俊



# 地域実践研究事業

インクルーシブ教育システムの構築に向けて、地域や学校が抱える課題を研究テーマとして設定し、研究所と地域が協働して行う新しいタイプの研究として、平成28年度より「地域実践研究事業」を実施

## 都道府県・指定都市・市町村

- 地域実践研究事業を特総研に申請（サブテーマから研究課題を選択、研究計画書を作成）
- 地域実践研究員を特総研に派遣  
長期派遣型（1年間の派遣）  
短期派遣型（年3回各2日間）  
※短期派遣型地域実践研究員は日常的に連携をとりながら、年3回各2日間（計6日間）の研究推進プログラムに参画。
- 研究進捗状況の把握や、研究成果普及への協力

申請



指定



地域実践研究員  
派遣



## 国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター

- 地域や学校がインクルーシブ教育システムの構築に向けて直面する課題から、メインテーマ2課題、その下にサブテーマを設定
- 申請のあった都道府県・指定都市・市町村から毎年、概ね10地域を指定
- サブテーマ毎に、特総研の研究員、地域実践研究員が研究グループを組織し、研究を推進

## 地域実践研究員

- 地域実践研究への参画
- 研究実践校及び地域との連絡調整
- 先進地域の情報収集
- 地域への研究成果の還元

メインテーマ1：

インクルーシブ教育システムの構築に向けた**体制整備**に関する研究

メインテーマ2：

インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育に関する**実地的**研究

		研究テーマ
H 2 8 ・ 2 9	M1	地域におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する研究
		インクルーシブ教育システム構築に向けた研修に関する研究
	M2	交流及び共同学習の推進に関する研究
		教材教具の活用と評価に関する研究
H 3 0 ・ R 0 1	M1	教育相談、就学先決定に関する研究
		インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究
	M2	多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究
		学校における合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究
R 0 2	M1	インクルーシブ教育システムの理解啓発の推進に関する研究
	M2	交流及び共同学習の充実に関する研究

(M1:メインテーマ1 M2:メインテーマ2)



# 地域実践研究【平成30・令和元年度研究課題】

メインテーマ1：

**インクルーシブ教育システムの構築に向けた体制整備に関する研究**

## **教育相談、就学先決定に関する研究**

各地の就学に係る教育相談、就学先決定に関し、本人・保護者への情報提供、園・学校間の連携、合意形成、就学先決定後の見直し等に関する現状及び生じている課題を明らかにすること、各自治体の工夫・取組から、課題解決の方策や、就学先決定に係る各プロセスについての留意事項、参考となる知見について整理すること

## **インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究**

今後の10年を見据えて「特別支援教育の目的や意義について十分理解している」教師とはどのような姿なのか（「こんな先生になるといいな」）、また、全ての教師がそのような教師であり、「組織的な対応ができる」学校とはどのような姿なのか（「こんな学校になるといいな」）を具体的に明らかにすることと、こうした教師や学校になるためには、校内研修等、どのような内容の取組が、どのようになされたのかを明らかにすること



# 地域実践研究【平成30・令和元年度研究課題】

メインテーマ2：  
インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育に関する実際的研究

## 多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究

多様な教育的ニーズのある子どもが在籍していることを前提にした小学校・中学校・高等学校等の学校づくりには、どのような視点が必要かを検討し、さらに、それらの学校づくりのプロセスを支援することをめざした研究を行う

## 学校における合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究

学校現場において、合理的配慮の提供を行うために必要な専門性の向上の支援方法を検討することや役立つツールを提供すること

## 参加自治体数と地域実践研究員人数

		県	市	町	人数
平成30年度	長期派遣型	5	0	0	6
	短期派遣型	4	4	0	10
令和元年度	長期派遣型	4	0	0	5
	短期派遣型	1	7	2	12

のべ33名の地域実践研究員の参画

## 地域の課題の傾向

- ・ インクルーシブ教育システムに関する体制整備
- ・ 教職員への理解啓発
- ・ 児童生徒への支援内容・方法



# 地域実践研究員 【平成30年度】



## 長期派遣5県、短期派遣8県市、合計16名の地域実践研究員

長期派遣：青森県、埼玉県、長野県、静岡県（2課題）、和歌山県

短期派遣：宮城県、兵庫県 奈良県、島根県、釜石市、富士見市、鹿沼市、横須賀市



# 地域実践研究員 【令和元年度】



## 長期派遣 5 県、短期派遣 10 県市、合計 17 名の地域実践研究員

長期派遣：青森県、埼玉県、長野県、静岡県（2 課題）

短期派遣：兵庫県、釜石市、鹿沼市、富士見市、柏市、横須賀市、坂城町、  
藤枝市、田原市、御嵩町



# 地域実践研究 研究参画地域の課題

## メインテーマ1： インクルーシブ教育システムの構築に向けた体制整備に関する研究

### 教育相談、就学先決定に関する研究

地域	地域の課題	年度
長野県	市町村の教育支援体制の構築	H30
長野県	県内の小中学校と福祉事業所が就学時の連携	R01
柏市 (千葉)	就学相談の体制整備の在り方	R01
富士見市 (埼玉)	就学相談に係る確実な引継ぎのためのリーフレット作成	R01
坂城町 (長野)	情報の共有方法	R01



# 地域実践研究 研究参画地域の課題

## メインテーマ1： インクルーシブ教育システムの構築に向けた体制整備に関する研究

### インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究

地域	地域の課題	年度
青森県	高等学校における特別支援教育の充実	H30・R01
埼玉県	インクルーシブ教育システムの理解啓発に向けて必要な取組や研修等の在り方	H30・R01
静岡県	教員個々の気づきを組織的に循環させることのできる「校内研修モデル」の開発	H30
釜石市 (岩手)	特別支援教育に係る現状把握と教職員・地域への理解啓発	H30・R01
宮城県	「インクルーシブ教育システム構築・『共に学ぶ』教育スタートモデル（試案）」の作成	H30
鹿沼市 (栃木)	インクルーシブ教育システム構築に向けての市内全教員に対する理解啓発と、教員の役割や立場に応じた専門性の向上	H30・R01
兵庫県	通常の学級の担任の障害のある子どもの教育的支援についての理解の現状の把握と理解啓発	H30・R01
島根県	出前講座によるインクルーシブ教育システムの理解啓発	H30



# 地域実践研究 研究参画地域の課題

## メインテーマ2： インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育に関する実際的研究

多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究

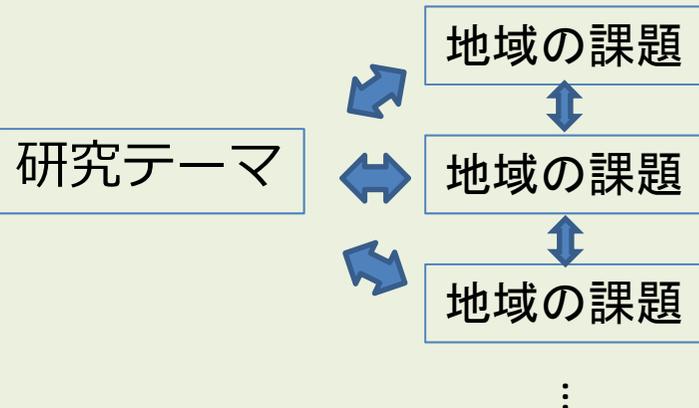
地域	地域の課題	年度
静岡県	高等学校の学校づくりにおける特別支援学校との連携	H30・R01
横須賀市 (神奈川)	校内の教育支援体制のさらなる充実に向けた方策	H30・R01
奈良県	高等学校における多面的な生徒理解と指導・支援の充実	H30

学校における合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究

地域	地域の課題	年度
和歌山県	交流及び共同学習における合理的配慮の充実	H30
富士見市 (埼玉)	特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりの普及	H30
静岡県	社会モデルを踏まえ子供理解を深めるための校内研修体制	R01
御嵩町 (岐阜)	特別支援学級、通常学級における合理的配慮の充実	R01

# 地域実践研究の研究内容・活動・普及

## 研究内容



## 研究活動

- 地域での実践研究
- 担当研究員との協議
- 地域実践研究推進プログラム  
(年3回)
- 研究協議会 (年2回程度)

## 研究成果の普及

- 研究成果報告書
- 地域実践研究フォーラム
- パンフレット等の印刷物



# 地域実践研究 研究推進プログラム【平成30年度】



研究チームでの全体協議



地域実践研究アドバイザーを交えての協議



地域実践研究員と担当研究員との打合せ



## 地域実践研究の進捗状況を各地域に報告・成果普及を目指す取組 【平成30年度】

地域実践研究フォーラムは、地域実践研究に参画している地域において、研究成果を速やかに普及することを目的として実施しています。

教育相談、就学先決定に関する研究



県内の市町村教育委員会における教育相談・就学先決定に係る取組と課題・成果に関する研究報告:長野県(2月7日)

多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究



多様な教育的ニーズのある児童生徒が在籍している小学校、中学校、高等学校への質問紙調査と訪問調査の研究報告:横須賀市(2月19日)、静岡県(2月21日)



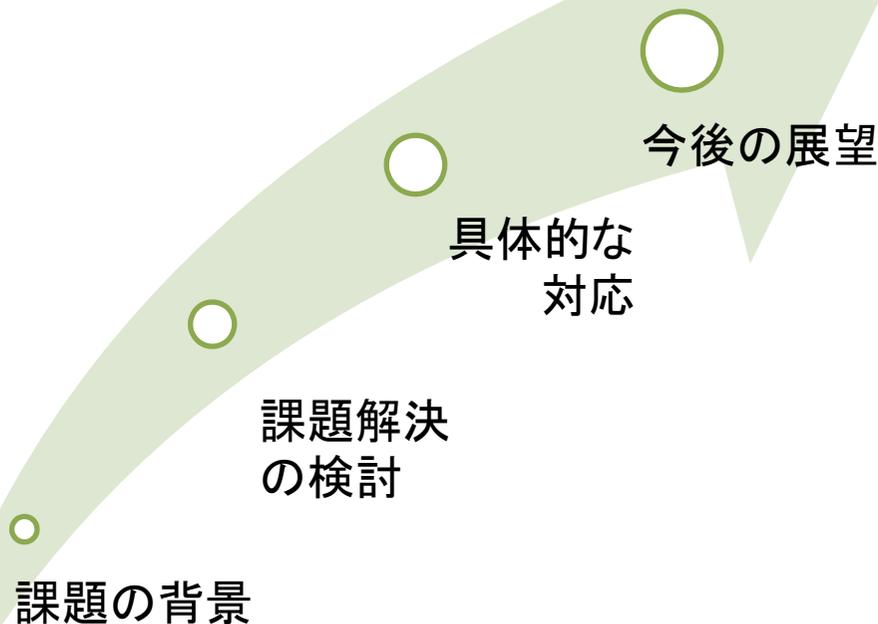
インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究

「インクルーシブ教育システムの理解啓発の現状と課題を明らかにする研究」と「インクルーシブ教育システムの理解啓発に向けた教育委員会等の取組に関する研究」の研究報告:釜石市(1月11日)、青森県(1月24日)、静岡県(2月4日)、埼玉県(2月6日)

# 地域実践研究成果報告の趣旨

地域実践研究員の研究成果と、教育委員会の立場から地域の今後の展望について報告いただくことで、それぞれの県で行った取組の意味とインクルーシブ教育システムの推進について考える。

インクルーシブ教育  
システムの推進



インクルーシブ教育システムの充実を図るためには、地域の有する様々な課題に対する継続的な取組が重要

## 地域実践研究報告

### 埼玉県の取組

若月 雅子氏

(埼玉県教育委員会 指導主事)

三好 辰昌氏

(埼玉県立騎西特別支援学校 主幹教諭)

### 静岡県の取組

和久田 欣慈氏

(静岡県教育委員会 指導班長)

大石 恵理氏

(静岡県立藤枝特別支援学校 教諭)

### アドバイザー

原 広治氏

(島根大学教授：地域実践研究アドバイザー)